

VHF/UHF帯電波有効利用作業班(第5回)の経緯

【放送グループの検討課題】

- (1) 同一地域内の所要チャンネル数が客観的に判断できる資料を提出すること。
- (2) 検討にあたっては、限られた帯域(VHF帯のローバンド18MHz幅を含む 30 ± 5 MHz幅)を如何に使うかという観点から、放送用途といった包括的な目的のために、トータルとしてどの程度周波数が必要なのか、技術、方式等による周波数的な重複が発生しない要検討すること。

【作業版における調査事項】

- (1) システム提案募集結果に基づく各周波数帯への提案システムの類型化。
- (2) (1)に関する適切な周波数帯・周波数は場の検討および隣接システム間共有、帯域共有に必要な技術パラメータの抽出。
- (3) 隣接システム間共有、帯域共有に関する共用条件。
- (4) 適切な周波数配置。
- (5) その他

以上